

第4回 豊川市都市計画道路網見直し検討委員会

【議事要旨】

日 時：平成28年2月22日（月）午前10時15分～12時00分

場 所：豊川市役所 委員会室

出席者：以下のとおり（敬称略）

岐阜大学名誉教授	竹内 伝史	委 員
豊橋技術科学大学名誉教授、客員教授	廣島 康裕	委 員
豊川商工会議所 総務課長	佐原 圭子	委 員
愛知県タクシー協会 豊川・蒲郡支部長	鈴木 榮一	委 員
公募委員	岩瀬 彰	委 員
公募委員	杉浦 正彬	委 員
国土交通省中部地方整備局 建政部都市整備課 課長補佐(代理出席)	片岡 広一	オブザーバー
愛知県建設部都市計画課主幹（代理出席）	八田 陽一	オブザーバー
愛知県東三河建設事務所 企画調整監	杉浦 政晴	オブザーバー
建設部長、建設部次長、都市計画課長始め都市計画課職員4名		事務局

## 1 あいさつ

委員長あいさつ

## 2 議事

### (1) 第3回検討委員会での意見と対応方針について

○ (事務局説明) 資料1、資料2、資料3に基づき説明

意見・質疑等の要旨	
意見	特に無し

### (2) 将来都市計画道路網基本構想(案)の作成について

○ (事務局説明) 資料4に基づき説明

意見・質疑等の要旨	
意見1	(委員) 例えば資料4、21 ページについて、検討結果が①から⑪まで書いてあるが、図面上どこに相当するのか、路線名が全て分かっていないと分かりにくい。報告書を作るにあたっては、分かりやすい資料にしていきたい。
	事務局 全てを見直して最終的な報告書ではご指摘の対応をするように修正をかけていく。
意見2	(オブザーバー) 長山一宮線について、変更又は廃止候補となっている。その他は廃止候補となっているが、この取り扱いの違いは。 (委員長) 変更又は廃止候補、廃止候補の違いを示しているところがあるか。
	事務局 廃止候補とした路線については、都市計画を廃止の手続きに進めたい路線となっている。変更又は廃止候補は現地の状況等を検討する中で、幅員の変更等、都市計画の内容を変更するような形で検討を進めたい路線となっている。 それぞれの定義付けを明確に明記していないため、最終的な報告書作成にあたっては、そういった注釈をつけるようにする。
意見3	(オブザーバー) 廃止検討候補と、廃止候補の違いについても、分かるように説明した上で記載して欲しい。
	事務局 24 ページに記載しているが、「変更または廃止の方針とした路線のうち県決定路線については、市による検討を踏まえた上で、今後、県による検討を行う路線として「廃止検討候補路線」「変更または廃止検討候補路線」ということで、『検討』という文言を加えている。

意見 4	<p>(委員)用語の説明は、その文言が初めて出てきたところに入れるべき。廃止候補と、変更又は廃止候補路線では、言葉が分かりにくい。変更又は廃止候補というのは変更(検討)候補としたほうが分かりやすいのではないか。ただし、変更という言葉の中に検討の結果、廃止という結論になることを排除するものでない、ということではないのか。</p>	
	事務局	<p>ご指摘のとおりのため、最終的な報告書を作成するにあたって、分かりやすい表現になるよう検討する。</p>
意見 5	<p>(オブザーバー)小坂井中条線についてだが、補助幹線道路として位置付けた上で、必要な幅員について今後検討するとされており、密集市街地整備事業が展開されており、防災性能上の幅員検討も併せて検討するとなっている。防災機能を持たせるための道路幅員が非常に重要なものとなるため、まちづくりの話し合いの中では特に説明していただいて、どのぐらいの幅員だとどのぐらい危険性があるのかなど、しっかり分かっていただいて、幅員等を決めていく方法を取っていただきたいと考える。</p>	
	事務局	<p>ご指摘について、参考にさせていただき検討を進める。</p>
意見 6	<p>(オブザーバー)豊川稲荷周辺地区について、全体的に読んでも最終的な評価が分かりにくい。今後、歩行者に配慮した道路整備等も検討するというのがこの評価ということが良いか。</p>	
	事務局	<p>こちらの評価としては、豊川稲荷、豊川駅の外郭を形成する都市計画道路が整備された場合、現在の通過交通などが排除できると考えており、その様な整備が整った段階で、歩行者に配慮したような道路整備のあり方等を検討することができるのではないかと、して結論付けている。</p>
意見 7	<p>(委員)今、指摘された歩行者に配慮した整備といった文章はどこに記載されているか。 報告書というものは、原則として文章で書かれるものだと思っている。現在の図面上での記載では重要度などが分かりにくい。エリアとしての結論はこういうことですよ、ということを図面とは別に文章で書いていただく必要があるのではないかと。</p>	
	事務局	<p>ご指摘について、参考にさせていただき最終的な報告書の取りまとめにおいて、分かりやすい資料作りに努める。</p>
意見 8	<p>(委員)豊川駅の周辺については、歩行者だけでなく、自転車も相当集まってくる。そういったものも併せて検討していただきたい。</p>	
	事務局	<p>評価結果として、歩行者等と記載しているが、これに自転車も含まれると考えており、それも含めた検討をしていくものと考えている。</p>

意見 9	（委員）資料 22, 23 ページを見ると、上宿樽井線が左側のページでは廃止候補となっており、右のページでは現行計画通りとなっているがどういう意味か。	
	事務局	上宿樽井線については、検討の前段として、検討を踏まえて廃止候補とすると記載しており、検討の結果、必要な路線となったものとして現行どおりと記載している。
意見 10	（委員長）数値的に言うと、廃止候補、変更又は廃止候補とした路線は何%になるのか、どのぐらいの量になるのか。	
	事務局	廃止候補路線の全体で約 19 km。整備率は現在が 55.7%、仮に廃止候補路線の手続きを進めることが出来ると、60.8%になる。

### (3) 将来都市計画道路網基本構想(案)について

○(事務局説明)資料5、資料6に基づき説明

意見・質疑等の要旨	
意見 11	(委員長)整備重要度の検討結果図で高中低の3段階になっているが、どの程度のばらつきがあるのか。
	事務局 県決定は高が約2割、中が約6割、低が約2割となっており、市決定では、高が約1割、中が約7割、低が1割5分程度となっている。
意見 12	(委員)県決定と、市決定で評価点の区切りが違うのか。
	事務局 点数で区切ったわけではなく、総合的に標準偏差をとって、それにより区分けをすることとした。
意見 13	(委員)図面では県、市で基準が違うものが同じ色付けになっている。これはあまり科学的ではない。 (委員長)県、市で分ける必要もなかったのではないか。 (委員)県の事業、市の事業により整備主体が違い、それぞれで予算制約がある中でといった行政の考え方もあるだろう。その様なことを文章として記載するべきではないか。
	事務局 ご指摘について、参考にさせていただき最終的な報告書の取りまとめにおいて、分かりやすい資料作りに努める。
意見 14	(オブザーバー)色々な評価項目があるが、路線によって目標とするものが違う。市街地の中では歩行者の交通安全、高規格な路線ではトラフィック機能が大事であるなど、路線ごとに評価のどの部分が大事かということとは変わってくるのではないか。そういったものは考えられているか。
	事務局 評価指標を設定するにあたり、評価ウェイトの設定をしており、都市道路については自動車交通量に関する項目、地区道路は歩行者とか自転車交通等に関する項目にウェイトをおいて配点を1.5倍としている。
意見 15	(委員長)評価項目の多いものはウェイトが高くなりすぎているのではないか。大項目が4つあるが、その中の小項目の数が多いと大項目ごとのウェイトが高まってしまう。
	事務局 ご指摘について、参考にさせていただき検討する。
意見 16	(委員)資料5の3ページに提案があり、4ページに結論があるが、通し番号がない。通し番号をつけて、それを図面にも入れるなどの配慮が必要。
	事務局 ご指摘について、参考にさせていただき最終的な報告書の取りまとめにおいて、分かりやすい資料作りに努める。

意見 17		(オブザーバー) 広石為当 1 号線、2 号線についてだが、名豊道路の側道となっており、名豊道路を含め一体的な検討が必要ではないか。
	事務局	当該路線については、名豊道路整備と併せて整備が進められることとなっており、その状況に従って出来上がった形を確認したうえでの手続きを想定している。
意見 18		(委員) この様な国道部分と側道部分の管理を別にして都決してしまうといった都市計画決定の仕方は良くあるのでしょうか。
	—	(オブザーバー) 国道バイパスの側道について、機能補償としての整備は国、管理は市町村ということはある。
意見 19		(委員) オブザーバーの皆さんにお聞きしたいのだが、先ほどの説明のとおり、今回の見直し検討では、10%弱の廃止又は、廃止検討候補となっている。実際に10%ぐらいは、など監督官庁の立場として見てどの様な感触であるか。数値目標はあるか。
	—	(オブザーバー) 見直し結果を見るとかなり踏み込んで検討をされている印象。感想としては、豊川市は頑張っていた、ということが私の所感。 (オブザーバー) 数字を持ち合わせているわけではないが、都市計画により土地利用規制がかかっている中で、必要性について見直しの検討をされている。結果的に交通量や人口が減っていく中で、廃止という方向になっていると思われる。